

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	就業支援・ボランティア等の受け入れの実施状況の安定はあるが、ホーム側からのアプローチによる地域の方との「気さくな関係・相互扶助」の進展を課題とする。	地域との良好な関係の構築。	1 計画的に行事へのお誘いをし、地域の方の特技や楽しみごとを活かせる場所作りを設定する。 2 認知症ケアの実際を肌で感じていただき、認知症への理解に繋げて行く。	12ヶ月
2	13	次世代を担う若い職員が、認知症ケア・医学知識・アクティビティ・地域との繋がり・家族支援・尊厳の重視等、マルチに福祉の根幹を学び、マネジメント力を修得できる環境作り・人材育成を課題とする。	職員の更なるモチベーションの継続的な持続と向上。	1 ホーム理念の理解と実践を通し、自己評価等で段階的な振り返りをし、自己実現の確認を定期的に行なっていく。 2 リーダー的役割を担い、チームリーダーとしてあらゆる経験を積み・自信獲得へと繋げていく。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

目標達成計画

作成日: 平成 27年 1月 7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	就業支援・ボランティア等の受け入れの実施状況の安定はあるが、ホーム側からのアプローチによる地域の方との「気さくな関係・相互扶助」の進展を課題とする。	地域との良好な関係の構築。	1 計画的に行事へのお誘いをし、地域の方の特技や楽しみごとを活かせる場所作りを設定する。 2 認知症ケアの実際を肌で感じていただき、認知症への理解に繋げて行く。	12ヶ月
2	13	職員を育てる取組み 10年後の次世代対応の職員体制構築を前提に、積極的に若手職員の導入を図りたい所であるが、現職員の平均年齢は50歳を超えており、採用面で改善を図りたい	①現職の管理者・計画作成担当者(全事業所7名)に続く30～40歳代の候補者を3名確保。 ②新卒を含め30～40歳代の介護職員採用と定着・育成を図る。(3名確保)	現状の介護サービス全般を棚卸して中核人材育成メニューを作り、定期的な育成策を図る。 ①社会人として質の高い介護人材育成策(OJT・OFFJT)②介護資格、介護技術、ケアマネジメント全般を習得③全職員の重要課題と位置づけ、職場環境の見直しを図る。	3年
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。